

EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド

この章では EWI エディターの中からコントロールセッティングについて解説します。

EWI は吹奏楽器のため、吹く人に合わせたセッティングをすることで思い通りの演奏表現をすることができます。また、普段サクソやフルートなどの生楽器を演奏している方にとってはコントロールセッティングを行うことで EWI に持ち替えた際の違和感をなくすことができます。

コントロールセッティング

- 4-1 運指モード設定
- 4-2 キータッチ
- 4-3 ブレスコントロール



4-1 運指モード設定

EWI には複数の運指モードが搭載されています。通常は EWI 運指(リコーダー運指)の設定となっていますが、サクソ、フルート、オーボエ、EVI(トランペット)運指に変更することができます。

4-2 キータッチ

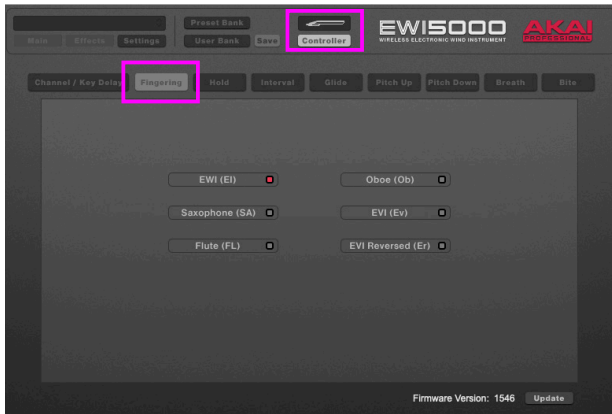
EWI はタッチセンサーのキーを採用しているため、演奏環境によってキーの感度調整が必要になることがあります。キーの反応に違和感を感じた場合、キーの感度調整(キー・センシティブィー)をすることで改善できます。キーの感度調整は本体のノートキーに触れていない状態であることを確認し、キー・センシティブィーの項目で調整をします。EWI5000、EWI Solo はエディター内の [Auto-Tune Button Sensitivity] をクリックすると自動調整され、EWI4000s は本体側のノブで、EWI USB は接続の際に自動で調整されます。(この時、キーに触れてしまうと調整がうまくいきません。)また、実際にホールを塞ぐメカニカルキーの生楽器に比べ、EWI のキーの反応の方が早いため、運指の仕方によって意図しない音が出る場合があります。その際はキーディレイを設定・調整をすることで改善されます。値を大きくすると反応が遅くなります。

4-3 ブレス調整

吹き入れる息に対する EWI の反応を調整します。EWI5000 と EWI Solo は High Resolution / Low Resolution の 2 種類から選択が可能で、通常は Low Resolution に設定されています。Low Resolution の場合は強弱の変化が 128 段階です。吹き始めた際に想定よりも早く大きな音が出てしまうなど、思ったような強弱変化を得られない場合は High Resolution に設定すると 16,384 段階の変化になり、より繊細な表現ができるようになります。



▼ EWI 5000 運指モード設定



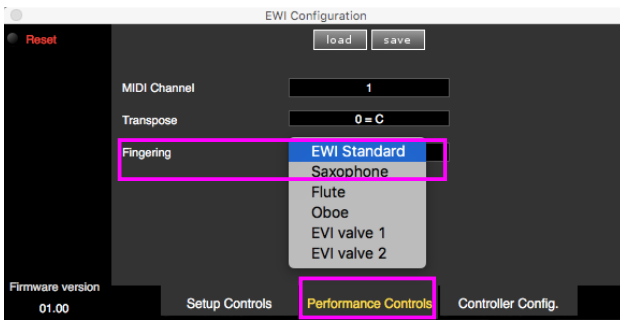
▲ Fingering タブを選択し好みの運指を選びます。エディターの中央上部のモード切替ボタンでコントローラーモードにする必要があります。*EWI5000 / EWI Solo 共通

▼ EWI 5000 キータッチ



▲ Channel/Key Delay タブを選択しキーディレイ [Key Delay] の値を設定。キー・センシティビティは [Auto-Tune Button Sensitivity] をクリックして行います。

▼ EWI USB 運指モード設定



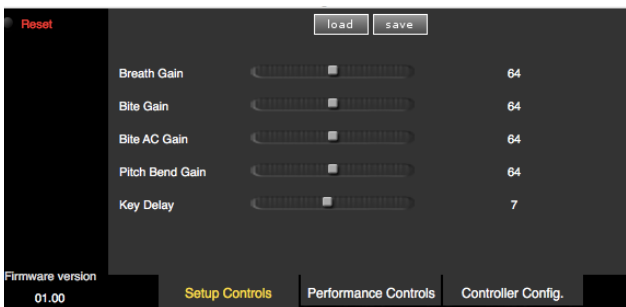
▲ Performance Controls タブを選択し Finfering から好みの運指を選びます

▼ EWI 5000 プレス調整



▲ Breath タブを選択してプレスコントロールを設定します。

▼ EWI USB プレス調整



▲ Setup Controls タブを選択しを選びます

次回は EWI の外部音源としても活用できる 3 種類のソフトウェア音源が収録された無料音楽制作ソフトウェア MPC Beats のインストールについて解説します。外部音源を使用することでより多くの音色を EWI で演奏することができるようになります。